令和8年度　学校経営の全体構想

安八町立名森小学校

安八町の学校教育

＜学校教育の方針＞

☆一人ひとりに「生きる力」をはぐくむ指導の充実
☆自他の存在（いのち）を大切にする心や規範意識を養う指導の充実
☆学校の教育目標の具現に徹する学校経営の推進
☆ふるさとのよさを感じ取り、愛する心と態度を育てる指導の充実

学校の教育目標

のびやかに　学び合い
助け合える　名森っ子

目指す児童の姿

元気・笑顔・思いやりの心で支え合い、知恵を出し合って輝く仲間

育みたい4つの力

Ⅰ　自分の考えを構築し、学びを深める力
Ⅱ　自分や相手（仲間）を理解する力
Ⅲ　自己管理し、たくましく生きる力
Ⅳ　目標をもち、常にチャレンジする力

学校課題

○議論し、学びを深めようとする児童の育成
・基礎学力を確実に身に付けようとする姿
・相手の考えを理解するとともに、根拠をもって自分の考えを話す姿
・思考の過程を大切にして学び進める姿
○互いの良さを感じ合い、認め合いながら向上しようとする児童の育成
・自分や仲間、地域への理解を深め、自信と誇りをもって挑戦する姿

◆指導の重点（◎）と具体的方途◆

◎ 児童主体の「わかる」授業づくりと「学ぶ喜び」が実感できる学習指導の工夫
◎ 一人一人を理解し、尊重し合う温かい人間関係づくりと、組織的な相談体制の確立
◎ 児童が主体となって活動する児童会活動の充実
◎ 健康で元気よく生活できる環境づくりの工夫と、相談体制の継続

学び合う子
いきいき学習／わくわく読書

□ 「わかる授業」づくり
・安心して学べる学習環境
・いきいきと学ぶための工夫（主役は児童）
・学習の定着度の見届け
□ 深い学びの場の工夫
・意図的に行う「個別最適な学び」と「協働的な学び」
・多様な考え（対話）から自己の考えを構築していく過程の工夫
□ 学習内容定着のための工夫
・ICT 等の有効活用、反復学習
・「ひなもりタイム」の活用
・家庭学習の工夫と見届け
□ 読書活動の充実
・学年に応じた読書計画と活動
・国語教材と連動した並行読書
・ビブリオトークの充実
・出前図書、読み聞かせの機会の活用

☆ 授業がよく分かる　95%
☆ 家庭学習の充実　95%
☆ 積極的な読書活動　85%

助け合い、支え合う子
にこにこ挨拶／ぽかぽか言葉

□ 年間を通した「ひびきあい活動」
・相手の名を大切にする「さん」づけ
・笑顔でかわす挨拶習慣
・「ちょボラ（かがやきみつけ）」と「ぽかぽか言葉」の継続
・全校SSTの推進
・公正公平な心の醸成
□ 居場所と絆づくり
・学級目標を柱にした温かい学級経営
・「ひなもり賞」への挑戦
□ 児童会活動の充実
・係や委員会活動の工夫
・異学年交流活動の企画運営
・組織的に行う“かがやきみつけ”
□ 規範意識の育成
・ネット、SNS の扱いを含むモラル意識の向上
・約束、マナーの意味指導の徹底

☆ 学校が楽しい　95%
☆ 気持ちのよい挨拶　90%
☆自己肯定感（有用感）　90%

のびやかな子
もりもり元気／もくぴか掃除

□ 望ましい生活習慣の定着
・早寝、早起き、朝ごはん習慣
・食育と健康教育の工夫
・時間の有効活用（開始時刻厳守）
□ 校内環境整備
・感謝の清掃活動（もくぴか掃除）
・ボランティア活動の推進
□ 体力向上、運動習慣
・運動習慣の定着（外遊び習慣）
・学級遊びの工夫
・「チャレンジスポーツ in ぎふ」への積極的参加
□ 危機管理能力の育成
・SOS の出し方教育
・KYT の意図的指導
・登下校におけるマナーの順守と安全指導の徹底
・防災教育、命を守る訓練

☆ 生活習慣の定着　88%
☆ 進んで運動する　95%
☆ 安全に行動する　90%

【いのちの教育】 ＊ 一人一人が輝くための3つのはたらきかけ
□ 自他の命を大切にするための取組の充実（SC、校内支援センター、組織的対応等）
□ 定期的なアンケートによる教育相談活動の継続と見届け
□ 常に目標をもち、目標達成までの努力や挑戦を価値づけ合う集団づくり

道徳科・人権教育
・自己を見つめる力
・他を思いやる心
・名森小ぽかぽか宣言

◆地域とともにある学校◆
～保護者・地域が誇る学校づくり～

保護者との連携を大切にした取組（共育）	地域ぐるみで行う取組（共育）
・あいさつ、生活習慣づくり、手伝い ・読書、家庭学習、情報共有 ・学校だより、「すぐーる」	・学校運営協議会 ・学校支援ボランティア（地域の応援隊） ・児童の安心・安全確保のための見守り活動と環境整備

【ふるさと教育】
なもり SDGs
・安八町の魅力を考える（3年）
・安心安全な町づくりを考える（5年）
・地域の環境を考える（4年）
・地域の未来を考える（6年）